

第28回コーデックス委員会総会の審議結果（概要）

77. 委員会は、最大基準値案を、部会から提案されていたとおりステップ5で採択した上でステップ6に進めた。精米中のカドミウム最大基準値に対して懸念を示した中国、EC、エジプト、ノルウェー、ナイジェリア、シンガポール、スイスが留保した。また、委員会は、複数の国から支持を受けた南アフリカ、タイやチリが、海産二枚貝、頭足類と腹足類の基準値案については実行するには低すぎるレベルであることから、ALARAの原則に基づいて基準値を設定すべきであり、さらに、各国の基準値によって貿易の障害が生じないように基準値の適用種の範囲をより良い定義や乾物等加工品への基準値の適用を明確にする必要があるとして懸念を表明するとともに、これらの点について部会で検討する必要があると提言した。